



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 イマジニア株式会社

上場取引所 東

コード番号 4644 URL <http://www.imagineer.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 澄岡 和憲

問合せ先責任者 (役職名) CFO (氏名) 中根 昌幸

TEL 03-3343-8911

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日

平成30年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	2,341	8.3	261	12.4	371	12.2	250	43.8
30年3月期第2四半期	2,162	33.5	232	64.6	423	207.0	173	21.2

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 368百万円 (85.5%) 30年3月期第2四半期 198百万円 (170.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	26.04	
30年3月期第2四半期	18.11	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	10,368	9,623	92.1	995.44
30年3月期	10,332	9,398	90.4	972.86

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 9,553百万円 30年3月期 9,337百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		10.00		15.00	25.00
31年3月期		12.50			
31年3月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,350	17.1	650	2.3	740	13.7	500	0.7	52.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	10,649,000 株	30年3月期	10,649,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	1,051,365 株	30年3月期	1,051,365 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	9,597,635 株	30年3月期2Q	9,597,635 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数字は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不意確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想値を異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付書類の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続かなかで、緩やかな回復基調となっておりますが、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動等のリスクがあります。

当社グループは、中長期の企業価値向上を目指して、「コンテンツ事業」の更なる成長と「再生可能エネルギー事業」を新たな柱に育成してまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,341,956千円（前年同期比8.3%増）、営業利益261,837千円（前年同期比12.4%増）、経常利益371,685千円（前年同期比12.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益250,011千円（前年同期比43.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (コンテンツ事業)

コンテンツ事業の売上高は2,340,964千円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益は434,932千円（前年同期比7.9%増）となりました。

当該事業の更なる成長を目指し、ヒットコンテンツの創出のため様々なプラットフォームでの積極的な研究開発や人材採用などの事業投資に取り組んでまいります。

主力ビジネスである「NTTドコモSG得コンテンツ」「auスマートパス」など向けにコンテンツ提供するキャリア主導サービスに加えて、スマートフォン及び「Nintendo Switch」向けのゲームコンテンツビジネスに注力しております。

#### (再生可能エネルギー事業)

再生可能エネルギー事業の売上高は991千円（前年同期比14.1%減）、セグメント損失は29,861千円（前年同期は34,809千円のセグメント損失）となりました。

中長期的な発電量の増加を目指し、水圧管路を利用した100kW以上の発電設備設置の新規立地開拓に取り組んでおります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して36,041千円増加した10,368,855千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が641,821千円及び売掛金が127,031千円の増加となったものの、投資有価証券が645,579千円の減少となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して188,981千円減少した745,207千円となりました。その主な要因は、流動負債のその他が112,175千円、未払法人税等が43,515千円及び営業未払金が40,724千円の減少となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して225,022千円増加した9,623,647千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が106,046千円及びその他有価証券評価差額金が110,666千円の増加となったことによるものであります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は4,631,843千円と前連結会計年度末より581,905千円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は29,340千円（前年同期比95.2%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益371,685千円の増加要因があったものの、売上債権の増加額127,031千円、受取利息及び受取配当金115,494千円及び法人税等の支払額115,330千円の減少要因があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は692,962千円（前年同期比73.2%減）となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入1,014,821千円の増加要因があったものの、投資有価証券の取得による支出324,294千円の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は144,903千円(前年同期は116,996千円の資金減少)となりました。これは主に、配当金の支払額142,537千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の連結業績予想は、平成30年5月15日付の決算短信で公表した数値からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,990,021	4,631,843
売掛金	1,050,802	1,177,833
有価証券	4,168	3,250
商品及び製品	9,475	8,770
仕掛品	6,864	44,580
原材料及び貯蔵品	19	19
その他	210,106	165,632
貸倒引当金	△954	△1,328
流動資産合計	5,270,503	6,030,603
固定資産		
有形固定資産	79,232	72,114
無形固定資産	8,030	7,306
投資その他の資産		
投資有価証券	4,463,098	3,817,518
破産更生債権等	115,164	123,109
その他	515,349	444,712
貸倒引当金	△118,564	△126,509
投資その他の資産合計	4,975,047	4,258,831
固定資産合計	5,062,310	4,338,252
資産合計	10,332,814	10,368,855
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,794	8,151
営業未払金	382,379	341,655
未払法人税等	127,921	84,405
賞与引当金	—	16,500
その他	405,049	292,874
流動負債合計	930,145	743,586
固定負債	4,043	1,620
負債合計	934,189	745,207
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	5,049,048	5,155,094
自己株式	△622,364	△622,364
株主資本合計	9,561,706	9,667,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△224,478	△113,811
その他の包括利益累計額合計	△224,478	△113,811
非支配株主持分	61,396	69,706
純資産合計	9,398,625	9,623,647
負債純資産合計	10,332,814	10,368,855

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	2,162,722	2,341,956
売上原価	1,070,090	1,056,493
売上総利益	1,092,632	1,285,462
返品調整引当金繰入額	1,046	—
差引売上総利益	1,091,586	1,285,462
販売費及び一般管理費	858,689	1,023,625
営業利益	232,897	261,837
営業外収益		
受取配当金	108,400	114,033
為替差益	—	46,889
貸倒引当金戻入額	200	—
持分法による投資利益	7,276	—
その他	74,692	20,129
営業外収益合計	190,569	181,051
営業外費用		
投資有価証券売却損	—	71,097
持分法による投資損失	—	54
その他	73	51
営業外費用合計	73	71,204
経常利益	423,393	371,685
特別利益		
新株予約権戻入益	662	—
特別利益合計	662	—
特別損失		
貸倒引当金繰入額	122,199	—
特別損失合計	122,199	—
税金等調整前四半期純利益	301,856	371,685
法人税、住民税及び事業税	147,195	91,221
法人税等調整額	1,422	22,142
法人税等合計	148,617	113,364
四半期純利益	153,238	258,321
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,610	8,310
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,849	250,011

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	153,238	258,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,675	110,666
その他の包括利益合計	45,675	110,666
四半期包括利益	198,914	368,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219,524	360,677
非支配株主に係る四半期包括利益	△20,610	8,310



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	301,856	371,685
減価償却費	10,400	8,100
貸倒引当金の増減額(△は減少)	122,454	8,319
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,000	16,500
返品調整引当金の増減額(△は減少)	1,046	-
受取利息及び受取配当金	△109,312	△115,494
為替差損益(△は益)	4,537	△4,506
投資有価証券売却損益(△は益)	-	54,951
投資事業組合運用損益(△は益)	△69,569	△1,590
持分法による投資損益(△は益)	△7,276	54
売上債権の増減額(△は増加)	70,854	△127,031
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,713	△37,010
経費前払金の増減額(△は増加)	170,752	△5,298
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△122,199	△7,945
仕入債務の増減額(△は減少)	6,169	△6,643
営業未払金の増減額(△は減少)	76,108	△40,724
未払金の増減額(△は減少)	72,649	△20,599
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,901	△35,926
その他	7,192	△7,675
小計	546,854	49,164
利息及び配当金の受取額	133,832	95,540
利息の支払額	△56	△34
法人税等の還付額	0	0
法人税等の支払額	△71,328	△115,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	609,301	29,340
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却及び償還による収入	168,402	2,613
投資有価証券の取得による支出	-	△324,294
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,432,338	1,014,821
その他	△17,152	△178
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,583,588	692,962
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△114,672	△142,537
その他	△2,323	△2,366
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,996	△144,903
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,537	4,506
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,071,355	581,905
現金及び現金同等物の期首残高	545,994	4,049,937
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,617,350	4,631,843

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	コンテンツ 事業	再生可能 エネルギー 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	2,161,568	1,154	2,162,722	—	2,162,722
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,161,568	1,154	2,162,722	—	2,162,722
セグメント利益 又は損失(△)	403,269	△34,809	368,460	△135,563	232,897

(注) 1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去300千円、各報告セグメントに配分していない全社費用135,863千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	コンテンツ 事業	再生可能 エネルギー 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	2,340,964	991	2,341,956	—	2,341,956
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,340,964	991	2,341,956	—	2,341,956
セグメント利益 又は損失(△)	434,932	△29,861	405,071	△143,233	261,837

- (注) 1. セグメント利益（又は損失）の調整額は、セグメント間取引消去△1,637千円、各報告セグメントに配分していない全社費用141,595千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。
2. セグメント利益（又は損失）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。